

令和 2年度予算見積調書

課室名: 建築安全課
担当名: 震災対策・構造指導担当
内線: 5527

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業
B22	緊急輸送道路閉塞建築物耐震化促進事業			一般会計	土木費	土木管理費	建築指導費	住宅・建築物耐震改修促進費
事業期間	平成24年度～ 令和 7年度	根拠法	建築物の耐震改修の促進に関する法律	宣言項目	03	大地震など危機への備えの強化	分野施策	020517 地震に備えたまちづくり

1 事業の概要	5 事業説明
	(1) 事業内容 緊急輸送道路は、震災後の救命救急、物資輸送及び復旧活動の「要」であるため、これらの道路を閉塞する民間建築物の耐震化が急務となっている。 県は、特定行政庁12市とともに関係機関等と連携し、民間の閉塞建築物の耐震化を促進する。 (1)緊急輸送道路閉塞建築物耐震化促進事業(県所管) (2)緊急輸送道路閉塞建築物耐震化促進事業(11市所管)
2 事業主体及び負担区分 診断: [県所管(国1/3・県2/3又は1/2又は1/3)事業者1/3 又は1/6又は0] [11市(国1/3・県1/2又は1/3) 市1/3又は1/6又は0・事業者1/3又は1/6又は0] 設計・工事: (国1/3・県1/2又は1/3)事業者1/3又は1/6	(2) 事業計画 補助件数 県所管分 (51市町村) 11市所管分 重点23路線 (内、連携路線) 耐震診断 0件 (0件) 耐震改修(建替)設計 2件 (1件) 耐震改修(建替・除却)工事 3件 (1件) 耐震診断 2件 (2件) 耐震改修(建替)設計 2件 (2件) 耐震改修(建替・除却)工事 0件 (0件)
3 地方財政措置の状況 国交付金に対応した県負担の1/2について特別交付税基礎数値に算入	(3) 事業効果 緊急輸送道路のうち連携路線の広域ネットワークを確保
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円	(4) 県民・民間活力、職員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 埼玉県緊急輸送道路閉塞建築物耐震化促進協議会の設置、職員の繰り返し訪問による働きかけ実施(平成23年度～) 県内3金融機関による耐震診断・耐震改修費融資制度の実施(平成24年12月取扱い開始) 埼玉県耐震サポーター(耐震診断等ができる建築士事務所や施工業者)をHPで公表(平成25年6月より開始) 埼玉県住宅供給公社による事業化コーディネート支援(平成24年度～)及び耐震診断費の助成(平成25年度～) 九都県市緊急輸送道路沿道建築物の耐震化促進に向けた連携協議会と連携した取組の実施(平成30年度～)

予算額		財 源 内 訳						一般財源	前年との対比
		国庫支出金							
決定額	118,739	54,712						64,027	△16,184
前年額	134,923	65,680						69,243	